復興バー ISHINOMAKI 石巻 ⇄ 銀座 GINZA

6月26日(金)～8月8日(土)迄

月～金 17時～22時　土・日 15時～22時　※l.o. 21時半

2015 日替りマスター

特別ゲストも続々登場！ 復興バー@銀座は、毎日替わるマスター制度。
東北に様々な想いを寄せるマスターとの会話が最高のおつまみです。

6/26 FRI ishinomaki2.0 代表 松村豪太
銀座発→石巻 STAND UP WEEK 2015行ナイト

石巻で震災をきっかけに誕生した奇跡のバー「復興バー」。復興バーを運営する石巻2.0の代表松村豪太が今年も銀座に駆けつけ、世界中のどこよりも刺激的なことが起こっている石巻の面白さをお伝えします。当日は2011年以来5年連続で開催するSTAND UP WEEK 2015(7/24～8/1)についてもご案内。「石巻という未来に参加しよう」！

6/27 SAT 吉田 慶
Tregionナイト

東日本大震災以降、岩手のNPO法人で活動していたオーナーが「支援ではなく継続的にビジネスを通して関わっていきたい」いう想いのもとに、東京・赤坂で2013年11月に三陸の浜焼きバルをオープン。三陸の生産者さんからこだわりの食材を仕入れ、炭火をつかった"浜焼き"や東北ならではの郷土料理をご提供。岩手・宮城・福島の美味しいモノがいっぱい。東京にいながら東北を全身で味わえる、「農家&漁師と恋に落ちる店」が、銀座に！

6/28 SUN 休日
開催希望の場合は御相談下さい。

6/29 MON 下田令雄成
COMING SOON...

代表の下田は、所属する公益社団法人東京青年会議所(東京JC)の有志メンバーの一人として、2011年4月上旬に石巻にて復興支援活動に従事したのち、2012年～2015年と同団体の復興支援系の委員会に籍を置き、復興支援および防災関連活動に従事してまいりました。特に昨年は、公益社団法人日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会のアカデミー研修委員会の委員長として、5月に福島での研修合宿を行い、その中で福島県須賀川市鏡石にて、福島ブロック協議会のアカデミー委員会とともに田植えを行う取り組みに従事しました。今回の取り組みも復興支援活動の一環として行い、福島の食材のPRと関わる人たちの交流を促進したいと願っております。

6/30 TUE 大川キボウプロジェクト 代表 大槻照彦
大川きぼうナイト

震災で最も大きな被害を受けた地区の一つ石巻市大川地区。大川小の悲劇もあり子どもが少なく、復興が難しい地区でもあります。大川きぼうプロジェクトはそんな大川地区出身の大槻がリーダーとなり、大川地区の心の復興の手伝いとして一月一回のペースでのワークショップを基本とした現地活動を続けています。大川のことは気になっているけど、重すぎて気軽にボランティアで行けないという話も聞きますが、地元の方は受け入れてくれますよ。大川に関わりのある人、気になっている人、情報交換しましょう。大川小の事で有名になりましたが、きれいな自然と長面の牡蠣など美味しい食材等の魅力もこれを機会に知ってください。

7/1 WED 銀河高原ビール
COMING SOON...

7/2 THU 宮城 一ノ蔵も登場! 向井 通
絆JAPAN×男気会 Night

東北支援会立上げのきっかけとなった、規格外ボラ団体の「絆JAPAN」と化粧品業界 異端児有志「男気会」のコラボ。お酒は豊富な水と良質の米に恵まれ、自然豊かな宮城県大崎市松山に蔵を構え、創業以来伝統の技を守り、手造りの仕込みによる日本酒を作り続ける「一ノ蔵」も登場。当日は限定直販も！食材は絆JAPANと結びつきの強いところから。魚介は牡蠣後小屋 渡波から寺岡氏が久々の参戦。野菜は絆japan 南相馬の浜農園から直収穫。絆を強める男気あふれる熱い夜を届けます。

7/3 FRI 福島 人気酒造 蔵元 遊佐勇人
緊急告知 人気一 銀座総進撃

ウルトラマンの生みの親・円谷英二氏の故郷から程近い、二本松市の酒蔵「人気酒造」が銀座に向けて総進撃を開始した。怪獣と宇宙人が造った酒、6酒類を蔵から持参し、銀座にいる愚かな人間どもに飲ませようという作戦だ。震災後円谷プロが始めたウルトラマン基金の商品6種類とスパークリング日本酒2種。1.大吟醸 地球侵略　2.純米総攻撃　3.ダダの梅酒　4.キングジョーの柚子酒　5.謎の芋焼酎のひみつ　6.麦焼酎ケムール人の挑戦　7.Rice Magicスパークリング純米大吟醸　8.Rice Magic スパークリングREDを蔵元から持参。

7/4 SAT 宮城 石巻ご出身の方々 和田公美子 / 伏見英敏
チーム イルマッジョと行く「三陸食べる観光」

チームメンバーのほぼ全員が被災地石巻出身。郷里の味を皆さんに知ってほしいという思いで参加します。三陸の魚介類を食べつくし、郷里の酒を飲みつくす、銀座にいながら三陸『食べる観光』の実演です。当日は、蒸し牡蠣、ホヤ、ラタトゥイユ、おでん(温製・冷製)、マスターが厳選した日本酒をご用意させて頂きます。

7/5 SUN 休日
開催希望の場合は御相談下さい。

7/6 MON 宮城 石巻ご出身の方々 TEAM 蛯名
牡鹿半島の復興を祈って

私たちの故郷牡鹿半島の幾つもの浜では、多くの方々が高台移転地の完成を待っています。遠く離れた街から故郷を思い、牡鹿半島直送の殻付きホタテ、生ウニ、鯨肉の味噌焼きなどをご用意致します

7/7 TUE 柴田
COMING SOON...

7/8 WED dateFM:繋ごう明日へ! 黒沢としみ
チーム和顔施(ワガンセ) 繋がらナイト

「和顔施」コミュニケーションで、笑顔の社会貢献を目的に設立した(社)コミュニケーション協会が、今年5月に銀座1丁目に事務所をオープンし、復興支援会と繋がりました。そして震災直後に自前で立ち上げた復興支援ラジオ「繋ごう明日へ！(DateFM)」も4年間で200名以上のゲストと繋がりました。このご縁をチームワガンセがつなげます！花巻のホロホロ鳥をたたき、鳥ワサ、手羽煮は、南部美人、一ノ蔵で。薫製やレバーペーストはワインで世田谷朝摘み野菜と石巻直送の魚貝がマリアージュ！サプライズゲストもお楽しみに！

7/9 THU 石巻 イトナブ 代表 古山隆幸
イトナブナイト

【イトナブ石巻とは】イトナブとは「IT」x「遊ぶ」x「学ぶ」x「営む」x「イノベーション」の造語です。石巻の次世代を担う若者を対象にソフトウェア開発やウェブデザインを学ぶ拠点と機会を提供し、地域産業×ITという観点から雇用促進、職業訓練ができる環境づくりを目指す。【イトナブ石巻のはじまり】石巻は震災以前より産業が少なく、若者が地元に残りたいと思っても仕事を選択する事ができなく、結果地元を離れざるをえない状況がありました。その後、東日本大震災が起こり、多くの犠牲と被害がありました。沢山のボランティアの方のおかげで石巻は昔以上に進化をし始めています。そして、これからは地元に残る若者達が新しいフィールドを自分達の力で築いて行くべきだと活動をしております。

7/10 FRI FISHERMANJAPAN × 巻組 島本幸奈
TRITON NIGHT

水産業は三陸沿岸被災地の基幹産業の一つです。これまで、硬直していた漁業の新しい担い手を育成し、新しい販路を見いだしたい。こした想いで、水産業の新しいネットワークづくりと産業構造の革新を目指(一社)フィッシャーマン・ジャパンと建築・デザインを切り口として石巻のブランディングを図る(同)巻組が協働して、漁師の新たな担い手を呼び込む拠点づくりのプロジェクト「TRITON PROJECT」を立ち上げました。「一次産業」「地方移住」について興味のある方々へ、東京でPRする機会をつくりたいと考え、今回エントリーしました。漁師たちの海を堪能して頂きながら、地方移住に興味をもっていただく機会を作れればと思います。

7/11 SAT おらほのラジオ体操 発案者・実行委員 西根英一
おらほのラジオバー

「おらほのラジオ体操」は、以下を守って、正しくお使いください。
【効能効果】　ココロを温める効果／キズナを深める効果／カラダを調える効果
【用法用量】　できれば習慣化が望ましい／スポーツイベントの準備体操にも採用可／ひとり可、仲間がいるとなお良し
【その他】　顕著な効果がみられた場合は、必ずみんなでシェアしてください。／ときに、東北弁がアタマから離れなくなることがございます。無理に忘れることはせず、東北に思いをお寄せください。

7/12 SUN 休日
開催希望の場合は御相談下さい。

7/13 MON 島 青志 / 梶 晶子
東北サンライズ ×ポリパン

「被災地の夜明け」をイメージし銀座復興バーでのデビューから石巻に関わり続け、今や「巻組社員」となった島青志考案のカクテル「東北サンライズ」。震災以降、各地の仮設住宅を廻り、オーブンも電子レンジも不要、ポリ袋とフライパンだけでつくる美味しい天然酵母パンを伝授し続けている、梶晶子とのコラボです。

7/14 TUE 東北復興プロジェクト支援コーディネーター 小倉伸太郎
希望の環ナイト

震災直後から、石巻を中心とした生産者の復興活動を行っている希望の環プロジェクト。「右肩上がりの復興支援」をテーマに、ただ復興を訴えるのではなく、東北の生産者が作り出す価値ある食材の魅力を伝えることで、ファンを増やしていくべくイベント等を中心に活動をしています。今回は数ある魅力的な生産者の食材を一部ですが復興バーでご紹介致します。当日のメニューは、牛タンつくね串セット、金華さば生ハム、かきキムチ、ほやキムチ、貝まみれ焼き、ムール貝酒蒸し、東北クラフトビール、地酒など。

7/15 WED 石巻 山徳平塚水産 代表 平塚隆一郎
ヤマトクNIGHT

COMING SOON...

7/16 THU 父の想いを胸に。 大倉弘也
東方ピープル go for it

父 ジョニー大倉が、東日本大震災以降、福島中心に、チャリティーライブを全国で行いました。復興支援ソング「東方ピープル」作り、その歌を被災地の人々へ届けてきました。その意思を受け継ぎます。
石巻の川開き祭り(8月1日)に、大倉弘也オリジナルソング、東北ピープルを石巻の皆様へ届けます。
歌を楽しんで頂けたら幸いです！

7/17 FRI FISHERMANJAPAN × 巻組 名取・旅おこし講
ユリアゲナイト2

今年で2回目の出店、「旅おこし」です！名取市閖上の名産を、銀座にお集まり頂いた皆さんに味わって頂く「ユリアゲナイト2」として参加します！！「旅おこし」とは、明治大学と尚絅学院大学の学生が中心となって組織された団体「名取・旅おこし講」による、旅を通じた地域おこし活動のこと。震災により被災された名取市閖上地区の共同体再生・維持を目的とし、地元の方々が心から親しまれている文化・食・場所・遊びなどの「魅力」を通じた地域おこしを行っています。過去3年にわたり、仙台近郊や東京から参加者をお招きし、閖上地区の方々と共に「魅力」を味わって頂きました！さらに、昨年度は「新・閖上風土記」の作成により、閖上の魅力を後世に伝え続ける取り組みにも力を入れています。さあ、皆さん東京で閖上の魅力を味わうとともに、復興という観点だけでない、地域おこしとしての「旅おこし」にも触れてみませんか??

7/18 SAT 石巻 高砂長寿味噌本舗 高砂光延
coming soon

石巻市渡波地区で被災しました。
東松島の味噌工場が助かり、2011年6月から操業開始し、多くの支援者に支えていただき今日まで歩んでこれました。
大震災前までの売上にはまだまだですが、着実に回復していきます。
当日は、味噌や醤油は勿論のこと、宮城のブランド豚「しもふりレッド」の味噌付け、牡蠣みそ、タラコみそなどを皆様に楽しんで頂きます。

7/19 SUN 上野敬幸
復興バー福島 浜団南相馬Night

福島県南相馬市原町区萱浜の地元消防団　現、福興浜団

COMING SOON...

7/20 MON 休日
開催希望の場合は御相談下さい。

7/21 TUE 嶋村誠一
COMING SOON...

7/22 WED 井上聡子
(仮)石巻移住計画ナイト

タイトルに想いを込めています。東京の人たちにも、石巻の素敵な魅力あるヒト・モノ・コトを知ってもらいたい。ゆくゆくは多拠点居住の拠点や第2のフルサト・移住などにもつなげられるように。。。まずは知ってもらう・興味をもってもらうキッカケづくりからスタートです！
当日は石巻の地酒(日高見・墨廼江)など味わう石巻の魅力もお伝え致します。

7/23 THU 山本美賢
「東北の心意気」ナイト！

「東北の心意気」は朝日新聞出版dot.内のサイトとして、立ち上がりました。地元をぐいぐいひっぱる「東北フロンティア」、東北人に魅せられ、持続可能な応援を続ける「東北ラバーズ」、そして被災地の魅力的な店舗や市町村情報を「東北げんき通信」などの切り口で、被災地にまつわる「今」の情報を紹介するメディアです。本サイトは多くのご賛同者の方々の一口広告により運営されており、東北や首都圏の取材班には今後もボランティアではなく「仕事」として運営していきたいと考えています。地域・企業の枠を越えた心意気で、長く継続できる東北と首都圏の協業モデルケースになれば幸いです。

7/24 FRI 松岡朝美
イノベナイト★

イノベーション東北の活動を通じて出会った300社を超える事業者のみなさんの中から選りすぐりの美味しいお呑みもの・お食事をご用意しておかみやママがお待ちしています！心躍る時間をみなさんと楽しみたいと思っています！！
当日は、イノベーション東北を通じてご縁をいただいた東北の事業者さんの食材を幅広く扱い、皆様にご提供させて頂きます。

7/25 SAT 2014 No4 MASTER ソルティバー 塩田宏美
浜通りナイト

ボランティアで海の方に通っていたら、浜通り地方に恋しちゃった福島県中通り地方出身のマスターとその仲間たちです。「浜通りナイト」のテーマはハワイアンですが、今年もマスターが野馬追の甲冑姿かもしれませんし、東北のハワイ＝ココナッツブラ着用のタヒチアンかもしれません。私たちが見付けた沢山の"美味しい"と"楽しい"を提供できればと思います。福島県のゲストスピーカーによるトークショーもあるかも？皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

7/26 SUN すべてのコドモたちを大切にする、元コドモたちのための夜! 猪熊弘子
コドモ To-Night！Part2

誰もがみんな、子どもだった！！…それなのに、みんな「子ども」の頃の自分を忘れてしまうものです。そして、世の中ではいつも子どもたちは後回し。被災地では「子どもは変わらない。子どもたちの笑顔に励まされる！」なんていう大人たちの声を聞きますが、傷ついた子どもたちは頑張ってる大人たちの前では本当の自分を出せないものなの。そんな子どもの心もわかってほしい！子どもは未来そのもの。しっかり支えていかなければ！…「子どもTo-Night! Part2」では、被災地の子どもたち、そして全国の子どもたちに関わる「元コドモ」を中心に宣伝し、集まって頂きます。美味しいお酒と食べ物を頂きながら、自分たちの幸せな子ども時代を思い出しつつ、未来を考える集まりにしたい。売り上げは被災地の子どもたちに役立つものに使います。子どもの専門家として20年以上取材を続けているジャーナリストで、阪神大震災の被災者でもある代表の猪熊を中心に、現役保育士のグループ「Child+(チャイルドプラス)」のメンバーが、昨年に引き続き皆さまにホスピタリティあふれる心地よい時間を約束します。子どもに関わるみなさん、元コドモのみなさんを、縦に横につないでいく場にしましょう。

7/27 MON クラウドエバンジェリスト 渥美俊英
311を忘れない 被災地ツアーのススメ &東北美味クラウドナイト

【311を忘れない】
被災地に訪れたことのない皆様に向けて、南三陸、陸前高田、気仙沼、大船渡、女川など、実際に自分の目で見て、美味しいものを食べて、観光に誘うツアーの楽しみを伝えます。実際に行った写真、食事、買い物、名所、宿泊先などの情報に加えて、特に、無くなりつつある遺構、当時と今のエピソード、復興商店街などをご紹介致します。また、当日は、関連イベントの告知やTシャツ、気仙沼の「希望の飲むヨーグルト」などの物販もございます。

7/28 TUE 東北への「きっかけ」は。 清水政也
「注文の多い料理店」銀座店

ゆとり世代の逆襲！
東北で知り合った仲間たちが、復興バーのスタッフとしてここ「注文の多い料理店」銀座店に集います。きっかけは東北。つながりは全国。7/28 (火) は、とりあえず銀座へ。ただ美味しい東北を、味わいに来てください。当日は、ほたて・かき・しゃも・いかなどの魚介類、まめぶ汁、鶏ハラミ焼き、野菜類などをご用意してお待ちしております。

7/29 WED 下枝浩徳
うめぇどぼー ～福島の酒と、魚と、人にようー夜～

【一般社団法人葛力創造舎?】"地域資源を活かした「学びの場」を通して、地域の自立と持続可能なコミュニティづくりを促す"ことをMISSIONに活動。これまで、福島のスピーカーをゲストに定期的に東京で交流会(Umedo-Café)を開催。交流の中から、福島の地域資源を生かした、古民家再生、酒造り、祭り造り、仮設住宅居酒屋など様々なプロジェクトが生まれています。葛力ではこれらのプロジェクトの立ち上げからサポートまで伴走型の支援を行っています。　【Umedo-Caféとは?】福島をテーマに情報の共有と人の縁を広げる交流会。"Umedo"は「おいしい」という意味の福島の方言「うめど」が由来。なぜ福島なのか??震災によって福島では様々な課題がクローズアップされました。過疎化、仕事、地域づくり、エネルギー、農業、少子化、ライフスタイル…。けれども、この問題は日本に内在しているものであり、10年後の日本の他の地域でも起こりえること。10年後の「日本のある地域の姿、日本人の姿」が今の福島にはあります。福島と関わりながら、日々の生活を見直すきっかけにしてみませんか?

7/30 THU 勝手にいちのせきPR大使 落合絵美
エイミーのいちのせキッチン☆

東北とは何の縁もなく関東で生まれ育った私は、震災以降プロボノとして通うようになった東北で、運命の恋に落ちました。それは、岩手県。岩手の気候も、文化も、人のあたたかさも、食も、すべて私のお気に入りです。今回は、その中でも第二の故郷として通ういちのせきの食材を集めて、みなさまをおもてなしします！いちのせきは8つの旧市町村が集まってできた、文化の玉手箱。各地に魅力的な文化や変わった食材がたくさんあります。代表的なものは「おもち」。いちのせきには300種類以上のおもちのつけだれがあり、冠婚葬祭すべてにおもちが出される、おもちのパラダイスだということは、実はあまり知られていません。その他、今年新宿で開催された「大牛肉博」で1位に肉薄した名ブランド牛・いわて南牛、市内を流れる豊かな河川で育ったぶりぶりの川魚、その川が生み出した豊饒の大地で育った野菜たち。いちのせきはうまいもんの王国です。

7/31 FRI ウーマン・オブ・ザ・イヤー2012大賞 石井美恵子
COMING SOON...

COMING SOON...

8/1 SAT 2014 No5 MASTER 石川淳哉
防災居酒屋

COMING SOON...

8/2 SUN 2014 No2 MASTER 笑顔プロジェクト
Discover東北

COMING SOON...

8/3 MON 美味しい福島を皆様に。 東 尚子
おいしい福島を伝え隊(仮)

私たちは、東日本大震災後から被災地、特に福島県を応援するボランティア活動を続ける中で、現地で農業や漁業、加工業、流通にかかわる方々と出会い、その地道な努力と食材の美味しさに感動し、そんな方々をなんとか応援したいと、日々SNSなどで地道に発信しています。どこから頼まれたわけでもなく、みな本心から、美味しさを伝えたいと思っています。福島県産の食材が身近なスーパーなどで日常的に購入できることが一番だと思いますが、現在は、まだまだだと感じています。しかし、消費者の声は、そうした食材が流通するようになるための大きな力になると考えます。今回、私たち自身が本当に美味しいと思うものを取り寄せ、召し上がって頂き、また購入したいと思って頂きたい。メニューとしては、福島県産の食材を複数種類ご用意して食べ比べ・飲み比べて頂き、その味の違いを楽しんで頂きたいと思っています。

8/4 TUE 河南桃生商工会青年部 今野英樹
次代を担うのは青年部でないと(NIGHT)

我々の住む石巻市の河南と桃生は東日本大震災の直接的被害はあまり多くなかったものの、同じ石巻市民として大きな悲しみ経験しました。震災から4年経った今、中心部のムーブメントに共鳴しながら、新たなウェーブを起こそうと地元商工会青年部が一致団結し、震災後、特に過疎化が進む田舎と言われる地域の活性化に、一石を投じようと動き出しています。若者達が自分のチカラを発揮したい、この町に残りたい…。そう思ってもらえる地域作りが石巻市全体の復興につながると信じています。

8/5 WED 志立 育
出張 tamuro

2011年10月からお付き合いを始めた石巻市小渕浜漁師木村美輝さんとの出会いから生まれたtamuroも、漁師さんをはじめ多くの石巻関係者のおかげで、2年半を迎えることができました。石巻の食を通してたくさんの人たちと繋がることができました。震災後4年半が経ち、仮設住宅から引っ越しも始まり新たな段階に来ている気がします。これからさらに繋がりが大事になると思っています。復興バーがさらに大きな輪を作る場になればと願っています。当日は、カキフライ、穴子寿司、牡蠣ごはんのおにぎり、牡蠣の佃煮、茎若布の佃煮、茎若布のピクルス、若芽サラダなどをご用意致します。

8/6 THU 東京工業大学 真野研究室
まの軒横丁

真野研究室では、震災直後から現地に入り、住民の方々と石巻をより良いものにするため様々なまちづくり活動に携わっています。ISHINOMAKI2.0と協力し、住民の声を集めたフリーペーパーや石巻中心市街地での営業再開店舗マップの発行、住民が自分たちでまちの考えていく地域自治組織のサポートを行ってきました。また、開催タイトルの由来でもある松川横丁において、2011年から6月からどのように横丁の生活環境をつくっていくか勉強会を行ってきました。そして、4名のメンバーにより駐車場と建物解体跡地を共同化して小さなビル(COMICHI石巻)を建てることが決まり、今夏竣工します。1階部分は3つの店舗、2階部分はシェアハウスとし、若者もお年寄りも一緒に横丁での暮らしを楽しめる新しいライフスタイルを発信していきます。

8/7 FRI 2014 No3 MASTER 田村由香理
石巻女す会プロデュース ～ほっこりNIGHT☆

東京在住・石巻出身の女性たちでエントリーする【石巻女す会プロデュース～ほっこりNIGHT☆】石巻のことを知らない方々にも、故郷を懐かしんでくださる方々にも、三陸の豊かな海の幸と米所の美味しいお酒で、ひと晩、"ほっこり笑って楽しんでもらおう！"そうすることで私達の故郷・石巻を多くの方々に知ってもらおう！そんな思いを込めて石巻女す会の(元?)美女軍団がおもてなし致します。どうぞ皆様、ひとときの"石巻復興バー・ほっこりNIGHT☆"を存分に楽しんでくださいませ。

8/8 SAT 東北支援会 発起人 代表 緒方佳美
最終日　東北支援会

2011年震災後、友人でもあった仲間5名で始めました。背景には毎週、我々の友人が被災地へボランティア活動をしている姿を間近に見ており、「我々なりの支援活動が何か出来ないか?」との会話から。当時、様々な場所で寄付金を集めておりましたが、どのように使われ、いつ被災地へ届くのか不明確な状況でした。そこから導かれた支援の形として「顔の見える支援会」。会を重ね、様々な支援活動されている団体や被災地の団体をお招きし、様々な声を届けてきました。その団体の一つが、石巻の松村豪太さんが代表を務める「ishinomaki2.0」この出会いから、「復興バー@銀座」も生まれました。東北支援会は、時間と共に薄まる被災地へ 関心を継続的喚起する事。都会に住む私たちができることを続けていきたいと考えております。

復興バー@銀座
フェイスブックページ
facebook.com/fukkoubarginza

2016年夏 開催予定